

戦略的プロジェクト研究推進事業
「ゲノム編集技術を活用した農作物品種・育種素材の開発
(花持ちが良く、省力栽培に適した花き)」
研究概要図

中課題番号	19190722
中課題名	ゲノム編集技術を活用した農作物品種・育種素材の開発（個別）
研究実施期間	令和元年度～令和5年度（5年間）
代表機関	公益財団法人岩手生物工学研究センター
研究開発責任者	西原 昌宏
研究開発責任者 連絡先	TEL : 0917-68-2911
共同研究機関	岩手県農業研究センター
普及・実用化 支援組織	岩手県農業研究センター
農林水産省内 本事業担当	農林水産技術会議事務局研究開発官室 代表：03-3502-8111（内線5870）

<研究概要図>

公募研究課題名	ゲノム編集技術を活用した農作物品種・育種素材の開発 「花持ちが良く、省力栽培に適した花き」
---------	--

研究開発の目的、達成目標

日本オリジナル花きであるリンドウ

大きなゲノム、他殖性、多年生、遺伝資源 少

- ・ゲノム編集技術の花きへの適用
- ・作出済みの編集系統の有効利用

ゲノム編集技術による花持ちが良く
省力栽培に適した育種素材の開発



研究開発の内容及び実施体制

岩手生物工学研究センター

リンドウにおけるゲノム編集の
高度化技術の開発と利用

- ・効率・迅速なゲノム編集
技術の開発
- ・ゲノム解析 (NGS)

外来遺伝子フリー
編集個体の作出

代表機関

育種
素材の
提供
←
→
編集
個体の
提供

岩手県農業研究センター

リンドウ新規育種素材の開発と利用

- ・各種素材系統、純系リンドウ等
の提供
- ・栽培、特性評価

編集個体の特性評価

共同研究機関

実用化・普及されることによる波及効果、国民生活等への貢献

新規育種素材



- リンドウ生産者の所得向上、農業担い手の確保
- 新たな素材の利用による花き産業の振興
- 植物ゲノム編集技術のいち早い社会実装

花きを先例としたNPBTの国民理解の促進